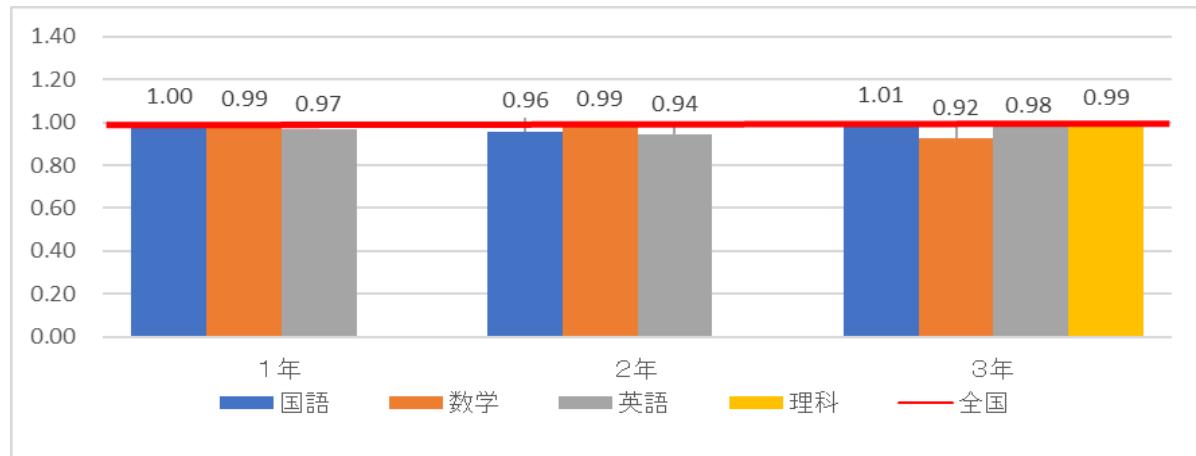


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第一中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生（国・数・英）及び中学3年生（英）は、寝屋川市学習到達度調査
中学3年生（国・数・理）は、全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	ほぼ全国平均と同等の結果であるが、活用問題に課題がみられる。根拠を基に自分の意見や考えについて書く指導を教科横断的に取り組んでいく。
	数学	ほぼ全国平均と同等の結果であるが、活用問題に課題がみられる。図形やデータの活用などの問題に対する理解を深めさせるとともに、他教科や日常生活と関連した課題設定を行っていく。
	英語	ほぼ全国平均と同等の結果であるが、自分の考えを英語で簡潔に書く設問に課題がみられる。会話の内容を英語で書く活動につなげる指導の充実を図っていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題が見られた。登場人物の発した言葉について、なぜそのように発言したのか、その根拠について考えながら読むことを意識した指導を行っていく。
	数学	「多角形の外角の意味を理解しているかどうかを見る」設問において、全国値を上回る結果であった。今後も、多角形の意味を理解するなど性質の考察や説明などを意識した指導を行っていく。
	理科	「元素記号に関する知識及び技能」を問う設問において、全国値を上回る結果であった。今後も基礎・基本の定着をもとに、活用課題につながるよう指導を行っていく。
	質問紙	「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に「全くしない」と回答した生徒の割合が30%を超えていていることから、引き続き家庭学習の取組を進めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

「考える力・伝える力の育成」をテーマに「聴いて、考えて、つなげる授業」の実践に取り組んでいる。PBIS（ポジティブ行動支援）の手法を取り入れた授業改善にも努めている。

【学校】

PBIS（ポジティブ行動支援）の取組を進めながら子どもの自己肯定感を高めるとともに、学習意欲を向上させ「自ら考える力」「学習する力」の育成に努める。